

令和3年度第1回京田辺市立図書館協議会（会議要旨）

- 1 開会
- 2 委員の委嘱
- 3 教育長あいさつ（社会教育課長 代読）
- 4 委員自己紹介
- 5 会長・副会長の選出

委員の互選により、会長に原田隆史委員、副会長に島谷千織委員に決定。

- 6 原田会長あいさつ
- 7 協議事項

議事進行は、京田辺市立図書館の管理及び運営に関する規則第22条第3項に基づき図書館協議会会長が務めた。

（1）令和2年度の利用状況・事業実績について

（事務局） 貸出冊数は、約698千冊。令和元年度と比較し16.4%の減少。新型コロナウイルス感染症拡大防止による約2か月間の臨時休館があったことや、来館を控えられた方がおられたことが減少の原因。リクエストの件数に関しては特にウェブからの予約が大幅に増加した。
事業に関しては、成人対象の講座等は定員を減らし開催できたが、子ども対象の事業は、開催が難しいと感じている。

（委員） 図書館のホームページはお知らせなどは載せているが、さびしい印象がある。新刊の紹介や予約の仕方を動画などで説明をするなどの工夫はできないか。

また、休館の状況は調べることができるが、開館したことを、利用者は知っているのか。

（委員） パソコンを使わない人、スマートフォンを持っていても電話だけの人もたくさんいる。その人たちに知らせる方法を考えてはどうか。

（事務局） 開館が決定した時点では、市の広報誌には間に合わず、ホームページ以外でお知らせするのが難しい。課題としたい。

（委員） 現状プラス今までのことだけではなく、新しいことをするなどサービスにメリハリが必要。

（委員） デジタルとアナログのサービスの両立を目指して欲しい。

(2) 令和3年度の図書館事業について

(事務局) 令和3年度の予算の概要の説明。

4月25日からの臨時休館中の対応の説明。

令和3年度開催予定の行事等の説明。

(委員) 連続講座に関して、毎回出席するというのは、難しいのではないか。その中の1回だけ参加できるという方法もあるのではないか。

(委員) デジタルを活用した講座をしてはどうか。

(委員) 講座に参加する年代の人は、デジタルに馴染みがない人も多い。

(委員) W I T Hコロナ時代・I T時代に対応し、貸出数だけでなく人がくる図書館として欲しい。

次回開催予定日 令和3年11月12日(金) 午後1時～

8 閉会